

JA全農 WEEKLY

4面

10月9日は「仙台牛の日」 多様な取り組みで「仙台牛物語」紡ぐ (宮城県本部)

3面

「特色JAS認証
サステナブルエッグ」
を新発売
(JA全農たまご(株))



特色JASの認証を取得した「サステナブルエッグ」(3面)



埼玉県本部クレーンステーション運営委員会
の女性部は、牛舎を花で彩る「花いっぱい運動」に取り組み、秋まきのミックスラワの種子を配布(2面)



「仙台牛の日」に合わせFMラジオで公開録音した関係者(4面)

2 牛舎を花で彩る「花いっぱい運動」
(埼玉県本部)

近江の茶 飲み比べサンプル配布し
魅力発信(滋賀県本部)

5 食品ロス削減テーマのマルシェ
グッドデザイン賞に(営業開発部)

6 テレビ番組「キッズの晩餐」
放送100回を突破(広報・調査部)

7 JAズームイン(栃木:JAはが野)

8 茨城県産ニラと銘柄豚の
「ニラたっぷり肉餃子」発売
(茨城県本部)

ラジオ番組「JA全農 COUNTDOWN
JAPAN」プレゼント(広報・調査部)

JAタウンショップ紹介
JAぎふ 清流ぎふの恵み(岐阜県)

Web
限定

「パイ・ふじのくに山梨物産市in
しずおか」に出展(山梨県本部)

全農ライフサポート山形が
「特製おせち」を販売(山形県本部)

JAイノベーターズブートキャンプ開催
(経営企画部)

Web版JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!

牛舎を花で彩る「花いっぱい運動」

コロナ自粛のストレス軽減も

埼玉県本部



牛舎を花で彩る「花いっぱい運動」で配ったミックスフラワーの種子

埼玉県本部クーラーズテーション運営委員会の女性部は、牛舎を花で彩る「花いっぱい運動」に取り組んでいます。牛舎環境の美化に取り組むことで、牛乳のイメージアップと新型コロナウイルスによる自粛生活で抱えがちなストレスの軽減につなげる目的です。

同委員会は埼玉県本部に生乳を出荷する酪農家92戸で組織しています。

女性部は牛舎周辺を花で彩ろうと、秋まきのミックスマックスフラワーの種子大袋を購入し、小分けにしたものを酪農家や関係機関に配りました。来春から秋にかけて開花し長期間楽しめます。

この運動は新型コロナウイルスの影響で、例年開いている交流活動を自粛した代わりに行いました。環境改善に努めながら酪農を営

んでいることを地域住民に伝えることで、牛乳のイメージアップを図る狙いがあります。また、会員同士の交流が思うようにできず、各自が閉塞感を抱える中で、花でそのストレスを和らげようと企画しました。

女性部の松本邦子会長（JAいるま野）は、「この運動を通じて地域住民に酪農をより身近に感じてもらうようにしたい。地域住民と華やかな春を迎えたい」と話しています。

News!

近江の茶 飲み比べサンプル配布し魅力発信

県産茶の認知・消費拡大目指す

滋賀県本部



サンプルは「信楽 朝宮茶」「土山 かぶせ茶」「甲賀のお茶」の3種類



サンプルを説明する滋賀県本部職員

滋賀県本部は、お茶の生産者と消費者をつなぐことを目的に、甲賀市産のお茶の飲み比べサンプルを作成し、イベントなどで配布しています。

サンプル品は冊子になっていて、煎茶やかぶせ茶など3種類の茶葉と、甲賀市産のお茶について、日本語と英語で紹介しています。このサンプル冊子を9月15日から8日間、草津市の近

鉄百貨店で約4000冊配布し、消費者へ近江の茶の認知・消費拡大を図りました。

この取り組みは、新型コロナウイルスの感染拡大による出荷量の減少や価格の下落などの影響を受けた茶の販売促進を支援する農林水産省の事業を活用しています。

滋賀県では近年、高齢化などでお茶の生産者や栽培面積が減少していることに加え、今回の新型コロナウイルスの拡大が消費減少に拍車を掛けました。滋賀県本部は今後もサンプル配布を通じて、引き続き近江のお茶の認知、消費拡大を目指します。

特色JAS認証 「サステナブルエッグ」を新発売

鶏卵では国内初の取得



特色JASの認証を取得した「サステナブルエッグ」



純国産鶏種「岡崎おうはん」(左)と「あずさ」

特色JASは、高付加価値やこだわりのある規格に表示されていた3種類のマークを統合し、新たなJASマークとして平成30年12月28日に制定されました。日本産品やサービスのさらなる差別化・ブランド化に向け、消費者に高付加価値性やこだわり、優れた品質や技術などを分かりやすくアピールすることが期待されています。鶏卵では純国産鶏種に国産飼料用米を給与し、持続可能性に配慮して生産されるものに表示されます。

鶏卵で取得した小松種鶏場は信州・安曇野にある有明山農場で、純国産鶏種「岡崎おうはん」と「あずさ」に5%の国産飼料米を含む餌を与え、北アルプスから流れ



小松種鶏場の代表取締役社長の小松伸好さん(右)と取締役の小松暁博さん

サステナブルエッグの概要	
商品名	サステナブルエッグ
規格	国産鶏種鶏卵 赤玉6個入りパック
発売日	2020年11月11日
希望小売価格	498円(税抜き)

る地下水で飼育しています。アニマルウエルフェアの観点から鶏のストレスを軽減させるため平飼いし、鶏舎の中で自由に動き回ることができます。環境を整えています。また、循環型農業の一環として、鶏ふんは近隣の野菜農家・果樹園などが肥料として使

用しています。

長野県農協直販は選別、包装で特色JASを取得しました。今後、他の農場が特色JASの鶏卵を生産した場合でも、取り扱うことができます。

2000羽からスタートし、首都圏と関西圏の高級スーパーや生協を中心に1日200〜250パックの販売を見込んでいます。

JAS全農たまご株式会社は、特色JASの認証を取得した鶏卵「サステナブルエッグ」を11月11日から販売します。長野県の株式会社小松種鶏場と長野県農協直販株式会社が、鶏卵としては国内第一号となる特色JASの認証を10月19日に取得しました。

【JAS全農たまご(株)】



多様な取り組みで 「仙台牛物語」紡ぐ

宮城県本部と仙台牛銘柄推進協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大によるホテルや飲食店での需要の激減、そして和牛輸出の停滞により大変な苦境に陥っている畜産生産者や関係機関を応援し、「仙台牛」で宮城県から全国へ元気を届けようと、さまざまな取り組みを行いました。

「仙台牛の日」に合わせFMラジオで公開録音



大友県本部長(中央)がラジオに生出演し仙台牛をアピール

「仙台牛の日」は、10月9日の「1009(センキュー)」と仙台牛を略した仙台牛(センギョウ)の語呂合わせで2016年に認定

ラジオ番組でプレゼントキャンペーン

TOKYO FMのラジオ番組「JA全農COUNTDOWN JAPAN」(毎週土曜13時)内で、抽選で10人に仙台牛サーロインステーキが当たるプレゼント



仙台牛サーロインステーキが当たるプレゼントキャンペーンを実施

されました。この日に合わせてキリンビール株式会社、Date FMとタッグを組んで公開録音を行い、仙台牛のおいしさをPR。当日は感染対策を徹底して県内消費者25組50人を招待し、仙台牛品評会のチャンピオン牛に舌鼓を打ちました。10月9日に大友良彦県本部長がラジオに生出演し、公開録音の様子も含め仙台牛をアピールしました。

【宮城県本部】

仙台牛とメルシャンワインがコラボ

「いい日、ハレの日、仙台牛! 皆さんの笑顔に乾杯!」



仙台牛に合う国産ワインに認定証書を授与

メルシャン株式会社とのマリージュ企画。ソムリエが仙台牛に合う国産ワイン3銘柄(藍茜・萌黄・長野メルロー)を厳選し、認定証書を授与しました。

仙台牛スタグラムを開設

より多くの消費者へ情報発信できるように公式Instagram「仙台牛スタグラム」を開設。仙台牛の情報はもちろん、お得な情報等も発信しています。仙台牛イメージキャラクターの牛政宗くんと共にフォロワー数1009(センギョウ)を目指しています。



仙台牛スタグラム

仙台牛マスクを製作

日常でのマスク着用が当たり前になっている状況を利用して、仙台牛の文字が入ったマスクを製作。より多くの人に着用してもらうことで、仙台牛ブランドの認知向上を図りました。



仙台牛の文字が入ったマスクを製作

宮城県本部は引き続き関係機関と協力し、宮城県が誇る仙台牛の認知向上や販売促進に取り組み、仙台牛の消費拡大と生産者の経営安定を目指します。

食品ロス削減テーマのマルシェ

グッドデザイン賞に

三井不動産レジデンシャルと協働

社会課題解決に貢献

全農が三井不動産レジデンシャル(株)と連携して取り組む、食品ロス削減を目的にしたマルシェが、2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。

【営業開発部】

きっかけは 国産農畜産物商談会

この取り組みは、直売所で売り切れずに生産者に返すことになってしまいう農産物などを、スマートフォンアプリを活用して都内のマンション居住者に迅速にマッチング、マンションのロビーでマルシェの形態で販売するものです。

きっかけは2017年の「Aグループ国産農畜産物商談会」で、食品ロス削減に取り組むECサイト「tabeloop」を運営するバリュードライブーズ(株)(以下、バリュー社)が営業開発部のブースを訪れたことです。食品ロス削減へ新たな取り組みができないか、互い

にアイデアを出し合う中で、直売所で売り切れなかった農産物を、消費地に直送し販売できないかと検討を重ねました。

まずはトライアル

アイデアの具体化へ、福島県本部直営の直売所「愛情館」にも協力を要請。時間じくして、バリュー社からフィッ トネスクラブの空きスペースでのマルシェ開催の相談があり、早速、試験的に取り組んでみることになりました。これには食品ロス削減に関心がある人や都内になかなか出回らない農産物を求める人などから大きな反応があり、手応えを得ました。一方、販売し

ながら取り組みの目的を理解してもらおうことの難しさや流通コストの削減など、課題も分かりました。

業態を越えた協働

EC事業を行うバリュー社を介して、新たなつながりができました。それが三井不動産レジデンシャルです。全農にとって関係性が薄いと思われがちな不動産会社でも、そこに住む人たちの食品ニーズという共通項がありました。三井不動産グループが管理する都内のマンションのロビーで食品ロスをテーマにしたマルシェを開いたところ、これも好評でした。マンションの住人からは、「定期的に開催

してほしい」という声もいただき、5回以上開いています。

社会課題解決に 貢献と評価

こうしたマルシェの取り組みが社会課題の解決につながっていると、三井不動産レジデンシャル社が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2020年度グッドデザイン賞を受賞、全農も事業主体者に名を連ねました。営業開発部ではこのような取り組みを通して、引き続き食品ロスの削減に取り組んでいきます。

発表
受賞
ページは
こちら



東京・豊洲で開いたマルシェ



食品ロス問題の啓発も



都内のマンションロビーで開いたマルシェ



キッズの晩餐



頑張るキッズと番組制作陣にインタビュー

全農が提供するテレビ番組「キッズの晩餐」(BS朝日)が放送100回を超えました。これを機に、「頑張るキッズ」と番組制作陣にインタビューを実施。番組の魅力を紹介します。

【広報・調査部】

番組情報

放送局 BS朝日(BS5チャンネル)
放送日時 毎週月曜20:54~21:00
再放送 毎週日曜11:55~12:00
HP http://www.bs-asahi.co.jp/kids_dinner/

「キッズの晩餐」は、縄跳びが誰よりも得意な少女や、料理が大好きで毎日台所に立って腕を磨く少年など、何かに一生懸命取り組んでいる子どもたちが主人公の番組です。番組オリジナルキャラクターの「おむすびくん」が全国の頑

番組オリジナルキャラクター「おむすびくん」



張るキッズを訪ね、将来の夢や目標をインタビューしています。

番組では毎回、出演するご家族に1俵分のお米をプレゼント。そのお米を使って、家族が子どもたちに「おむすび」を作り、子どもたちの夢を「食」で応援しています。家族が作る「おむすび」には地元の特産品が使われていることが多く、豊かな地域色を感じることができます。

同番組の品川プロデューサー(BS朝日・編成制作局 編成制作部)は番組について「メジャー、マイナー関係なく全国

で頑張っているキッズを紹介している点や、競技に取り組んでいる真剣な表情と家族団らんでの和らいだ表情の比較が魅力」と語ります。また、大切にしていることとして「ご家庭での撮影のため、あったかい雰囲気を大切に、出演するキッズの集中している表情を撮り逃さないようにしています。また、愛情たっぷりのおむすびは、米一粒一粒まで輝いているので、こちらも撮り逃さないようにしています」とコメントをくださいました。

「キッズの晩餐」は毎週月曜夜8時54分から放送中です。ぜひご覧ください。

ご家族インタビュー

「頑張るキッズ」ご家族

- お子さん：藤田結人(ゆうと)くん
- お母さま：藤田一見(ひとみ)さま ※今回はお母さまにインタビュー

Q1 取材を受けての感想

普段と違って緊張からかおとなしくなってしまった様子で、本人も「とても緊張した!」とっていました。

Q2 取材をきっかけに変わったこと

もともと好き嫌いが多かったのですが、最近は何んでもよく食べるようになりました。普段はそんなに意識していませんでしたが、私も改めて栄養バランスに気をつけて献立をたてるようになりました。

Q3 普段の食事で気を付けていること

メインのおかず、汁物、野菜のおかずをそろえるようにしています。野菜のおかずは、生野菜ばかりだと量を食べられないので、煮物やおひたしにしたりと、火を通したおかずも作るようにしています。

Q4 1俵分のお米を受け取った感想

普段からたくさんお米を食べています。子どもが3人いて、お米の消費量がすごいので、とてもありがたいです。



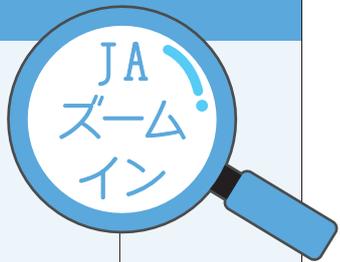
野球を頑張る結人くん



おむすびを頬張る結人くん(右)と姉の心菜さん



栄養バランスに気をつけて調理する母親の一見さん



米、青果物の施設整備し ブランド確立、所得向上へ



今年8月に完成した真岡東部ライスセンター

JAはが野は栃木県の南東部に位置し、管内は1市4町（真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町）で構成されています。イチゴ・ナス・ニラ・トマト・梨などが生産される、農業の盛んな地域です。

ライスセンター設立 はが野ブランド確立を目指す

同JAは、地域農業者の労働力軽減と安心・安全・高品質をばらつきのない米の供給を目的として、今年8月25日に「真岡東部ライスセンター」を設立しました。この施設は、2019年度の「強い農業・担い手づくり総合支援事業（競争力強化生産総合対策事業）」を活用して設置され、異なる

品種のもみと玄米を同時に処理できる、全国でも有数の施設です。

荷受け能力は、もみと玄米を荷受けできる設備を3系列導入し、最大で90ト対応可能です。また、容量30トの遠赤外線乾燥機を10基設置、その他にもフルカラーカメラ型の色彩選別機など最新鋭の機械とシステムを導入し、地域全体のお米を均一かつ高品質に一括乾燥調製できます。

この施設を担い手の確保と合わせた販売戦略の拠点として、施設の最大限の活用を図りながら、はが野ブランド（安心・安全・品質向上）の確立に向け、広く実需者や消費者へPRしていきます。

JAはが野 （栃木県）



高機能物流センターで 生産者の所得向上と 農業生産拡大

高機能物流センター（パッケージセンター）は、農業の6割ともいわれる青果



青果物の荷造り作業を生産者に代わって行う高機能物流センター

を指すとともに、労働力軽減による反収の向上や栽培面積の維持・拡大による「農業生産の拡大」に努めています。また、パッケージされた商品や、集荷場に集荷された商品を直接実需者へ販売することで、産地メリットを創出し、商品の付加価値販売を実現していきます。

物の荷造り作業を生産者に代わって行う施設です。同JAでは、管内に4カ所のパッケージセンターを設置しており、実需者・消費者ニーズに対応した商品の提供による生産者の所得向上

概要	令和2年2月29日現在
正組合員数	1万5395人
准組合員数	4674人
職員数	537人
販売品取扱高	240億6千万円
購買品取扱高	54億3千万円
貯金残高	1916億8千万円
長期共済保有高	5918億円
主な農産物	イチゴ、米、麦、ナス、ニラ、 トマト、梨



茨城県産ニラと銘柄豚の 「ニラたっぷり肉餃子」発売

県本部とJA新ひたち野が共同開発

茨城県本部は全国有数の産出額を誇るニラと銘柄豚「ローズポーク」をふんだんに使った餃子「ニラたっぷり肉餃子」をJA新ひたち野と共に開発しました。 【茨城県本部】

全国有数のニラ産出額を誇る同JA管内から原料を供給し、餡の具材に使用したオリジナルの肉餃子です。肉厚で柔らかく良い香りが特長の「ニラ」を、シャキシャキとした小気味良い食感に仕上げ、豚肉には茨城県が生んだ銘柄豚肉「ローズポーク」を使用しました。おかずはもちろんのこと、お酒のおつまみや、ちょっとしたおやつにもなり、手軽で簡単に食べられる商品です。

商品は1袋30個入り(1個18g)で賞味期限は製造日から1年間。県本部の直売所(ポケットファームときどき茨城町店・つくば牛久店)、やJA新ひたち野管内の直売所(大地のめぐみ、産地直売所みのり、空のえき そらら)など、県内を中心に販売します。

「ニラ」の香りと「ローズポーク」のうま味を存分に味わえる「ニラたっぷり肉餃子」を、この機会にぜひお試しください。



「ニラ」の香りと「ローズポーク」のうま味を味わえる肉餃子

毎週土曜日13時~ TOKYO FM系列38局ネット

全農 ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

11月14日放送のプレゼントは、青森県のお米「令和2年産『青天の霹靂』5kg」です。2015年秋にデビューした期待の品種で、6年連続「特A」を取得しています。青天の「青」は青森の青で「天」ははるかに広がる空、霹靂は稲妻のこと。晴れわたった空に突如として現れる稲妻のような、鮮烈な存在にしたいとの思いが込められています。粘りどキレのバランスがよく上品な甘みとさっぱりした食感が特長です。また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。

【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは11月14日の放送でランキング1位の曲が発表されるまでです

この商品はこちらからご購入いただけます。

JAタウン
ショップ名

JA全農あおもり



JA全農のインターネットショッピングモール JAタウン ショップ紹介

JAぎふ 清流ぎふの恵み (岐阜県)

羽島市特産の藤九郎銀杏は大粒で、その重さは一般的な銀杏の2倍ほど。さらに塩水選別を実施することで、実の詰まった高品質な銀杏をお届けします。

滑らかで光沢のある純白の殻を割ると、中からは美しい翡翠色の果実が顔をのぞかせます。食感のもっちりとして苦みが少なく、粒が大きいので食べ応えもあります。

岐阜県が推奨する「飛騨・美濃伝統野菜」にも認定されている「藤九郎銀杏」を味わってみませんか。



藤九郎銀杏 3L(500g袋)×3袋
……JAタウン価格5800円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com

